

# 妊娠期からの切れ目のない親子支援

## —保健医療・福祉・教育をつなぐ地域の役割—

平成29年3月に「市町村子ども家庭支援指針（ガイドライン）」が通知され、市区町村子ども家庭総合支援拠点の具体的な業務、要保護児童対策地域協議会との関係、子育て世代包括支援センター等関係機関との連携の在り方及び特定妊婦への支援、児童相談所の指導措置の委託を受けて行う指導についてなどが詳細に示されました。8月には「新しい社会的養育ビジョン」が提示され、虐待や貧困の世代間連鎖を断ち切る支援システムの確立、困難な状況に置かれた子どもへの多様なケアの充実や地域社会に根づくための自立支援も市区町村の役割であると示されています。

このセミナーでは、市区町村の各現場で役割を担っている皆さんに参加を頂き、平成28年改正児童福祉法の“理念を支援に変えていく”ための具体的な方策をご一緒に考えたいと思います。

【日 時】 2018年3月21日（水・祝）14:00～18:30

【会 場】 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟501号室  
（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

アクセス：小田急線「参宮橋駅」下車 徒歩7分 ほか

【対 象】 保健所・保健センター、子ども家庭支援センター、保育園、幼稚園、学校関係者、医療関係者、児童相談所、および家族の支援に係わる方

【定 員】 150名（定員になり次第〆切）

【受講料】 7,000円（CCAP賛助会員の方は6,000円）

時 間	内 容	講 師・シンポジスト（敬称略）
13:30～	受付開始	
14:00 ～15:30	【基調講演】 地域に求められている社会的養育とは 「新しい社会的養育ビジョン」を実現するための全体像と市区町村の役割について	奥山 真紀子／CCAP 理事、小児精神科医 国立成育医療研究センターこころの診療 部長、厚生労働省「新たな社会的養育の 在り方に関する検討会」座長
15:40 ～18:30	【シンポジウム】 市区町村は何を目指すのか 市区町村に求められる機能と児童相談所の 設置を視野に入れた「市区町村子ども家庭総合 支援拠点」及び子育て世代包括支援センター との関係整理。市区町村の支援と関係機関との 連携・地域づくりの現状について考えていき ます。	鈴木 秀洋／日本大学准教授、前文京区男女 協働担当課長・子ども家庭支援センター 所長 中板 育美／公益社団法人日本看護協会 常任理事 吉澤 みどり／CCAP 評議員、保健師
	フロアーディスカッション と まとめ	*コーディネーター：奥山真紀子

【申込方法】 ※入金後の返金はできませんので、ご注意下さい。

参加申込書（裏面）にご記入の上、FAXにて子どもの虐待防止センター事務局までお申し込み下さい。  
折り返し受講番号と振込口座をFAX連絡いたします。受講番号確認後受講料をお振り込み下さい。

【 申込書送付先 】

社会福祉法人 子どもの虐待防止センター事務局 FAX 03-5300-2452

TEL 03-5300-2451

**WEB**

開催日：2018年3月21日（祝）

【第46回 子どもの虐待防止セミナー 参加申し込み書】

<p>■ 名前（ふりがな）</p>	<p>■ CCAP 賛助会員*（いずれかに○）</p> <p>(1) 会員である</p> <p>(2) 会員ではない</p> <p>(3) 入会を申し込む</p>
<p>■ 受講票送付先 FAX（自宅・勤務先…いずれかに○）</p> <p><u>*受講票の返信をFAXにて行いますので、必ずFAX番号をご明記下さい</u></p>	<p>■ 勤務先名称</p> <p>*所属機関と所属部署名までご記入下さい</p>
<p>■ TEL（自宅・勤務先…いずれかに○）</p> <p>*日中のご連絡が可能な番号をお知らせ下さい</p>	<p>■ 職 種</p>
<p>■ 住所（自宅・勤務先…いずれかに○）</p> <p>〒</p>	<p>■ 公費による受講料振込の方は 振込人名をお書き下さい</p>
<p>【ご質問】 *テーマに関連して、質問などございましたらご記入ください</p>	

\*このたびのセミナーと同時に CCAP 賛助会員にお申し込み頂きますと、会員料金でご参加いただけます。  
入会ご希望の方は事務局までご連絡下さい。年会費は一口 5,000 円（4 月～翌 3 月の年度制）です。